

浅草岳山スキー

2008年5月18日(日)
メンバ - : L山本(記)、釣

5月17日(土) 晴

計画は17,18日の2日間で守門、浅草の二山で山スキーだったが、小生の先輩が亡くなり日曜日の1日で浅草岳のみとなってしまう。その代わり土曜日は早くから出られるので、午後1時に高井戸で落合い、珍しく明るいうちから上越をめざした。

小出のスーパーで買出しして浅草岳へと向かう。5時ごろ五味沢に着くが雪は皆無。大自然館の先に通行止の看板があったが、スタンドが立てかけてあるだけなので進ませてもらう。破間川右沢に沿って残雪も出てきて除雪された舗装林道を終点まで入る。

ネズモチ平への登り口のようにそこでテントを張り、表で夕餉の仕度にとりかかる。竿を持ってこなかったことを後悔するが、一杯入れればそれも忘れ、いつものパターンとなる。

残雪をいただいた浅草岳の秀麗な山容が目の前に広がっていた。



【浅草岳】

5月18日(日) 晴

緩やかな高原の林道をスキーで気持ちよく進む。ブナの新緑と残雪のコントラストがきれいだ。一時間ほどで林道から登山道に入り、雪原を道形を拾いながら登っていく。右へ谷を渡り前岳からの尾根の末端で取付きを探すが、沢はそのまま稜線へと突き上げているのでその雪渓を詰めることにする。

最初は傾斜も手頃で直登していくが、最後は雪壁となる。スキーを担いでキックステップで緊張しながら急登すると、前岳と浅草岳本峰との鞍部に出た。山頂へは一投足である。



【守門岳を望む】

頂上には雪は無く早坂尾根の下りはすでにヤブになっており、見通しが利かない。相談したが、結局予定通り早坂尾根を下ることにしてヤブへ突入する。結構なヤブコギでおまけにスキーを担いでいるので始末が悪い。それでも下りなので割りとはかどり、200mほど下るとヤブは切れ広々とした尾根に出た。

傾斜も我々にとっては適度で尾根末端まで雪は続いている。そこからスキーを履き爽快な滑りを楽しむ。



【早坂尾根】

5月連休以前なら頂上からの大斜面を滑れると思う。尾根巾が広いのでゆったりと滑れるのが気持ちよい。守門や矢筈岳方面の眺望が素晴らしい。途中ストックで押しながらも順調に尾根末端まで滑り、左へ急な尾根を下降すると密な樹林帯となる。スキーを外し200mも下ると緩やかな杉の植林帯にでて後は逍遥しながら(迷いながら)、車まで戻った。

結局登りも下りも残雪期ならではのルートどりになり、結構充足した一日となった。

5/18(日) 駐車地点 6:30 ~ 前岳・浅草岳
鞍部 9:50-10:00 ~ 浅草岳 10:
30 - 11:00 ~ 駐車地点 13:40
地図:守門岳(2万5千)